

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	芸術・文化振興事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	市民一人ひとりが芸術文化に接することにより、生活にゆとりと安らぎをもち、また、心のつながりやお互いを理解し、尊重しあう社会を育成するため。
事業内容	文化協会への補助金交付やその他の支援、四季の花々展の開催、モニュメント管理等を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度より芸術・文化振興事業の中にあつた、サロンコンサート、市民ギャラリー展、市民音楽祭は事業別となり、大部分をアウトソーシングで実施。文化協会への補助金等を通しての支援も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	文化協会事業の参加者数	16,350	19,119	18,605	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	平成30年度は一般財団法人地域創造の助成を活用し、おおたかの森センター指定管理者による文化事業を実施した。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	市役所ロビーでの四季の花々展（隔月）、流山おおたかの森駅構内にあるモニュメントの管理等を行っている。文化協会の行っている事業に対して補助金を交付し、文化協会の事業を支援している。
事務事業の総コスト(a=b+c)	929,525	856,252	2,923,105	
事業費(b)(円)	792,225	789,132	2,791,265	
うち一般財源	792,225	789,132	2,791,265	
職員給与費(c)(円)	137,300	67,120	131,840	
人役・職員(人)	0.02	0.01	0.02	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	既存の分野以外への働きかけや、参加・出演の機会についての募集情報を提供する。	③取組における課題(Check)	文化団体の構成員が高齢化している。政府が定める文化芸術推進基本計画等の内容を注視する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	文化協会等への補助金交付を通して文化芸術の振興につながる事業を推進した。また、一般財団法人地域創造の助成を活用し、おおたかの森センター指定管理者による文化事業を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	政府が定める文化芸術推進基本計画の内容を踏まえて、今後、事業の改善の必要性を検討する。